

\*\*\*\*\*

第 2 5 9 号

2008年8月28日

## 日 本 気 象 学 会

### 関 西 支 部 ニ ュ ー ス

- 2008年度 関西支部理事会報告
- 2008年度 関西支部総会並びに年会報告
- 第28期 第1回常任理事会報告
- 関西支部 第30回 夏季大学報告
- 2008年度関西支部例会のお知らせ
- 第2回気象サイエンスカフェについて
- 会員種別について
- メールアドレス登録のお願い
- 住所変更届のお願い
- (社)日本気象学会入会案内

〒 540-0008

大阪市中央区大手前4丁目 1-76

大阪合同庁舎第4号館

大阪管区気象台内

日本気象学会関西支部

振替 00980-5-18318

TEL (06) 6949-6322

FAX (06) 6944-2121

ホームページ：

<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/>

E-mail：

[msj-kns@s2.dion.ne.jp](mailto:msj-kns@s2.dion.ne.jp)

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記して  
います。メール送信の際は半角で入力してください。)

\*\*\*\*\*

#### ○ 2008年度 関西支部理事会報告

6月28日11時から、大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）において、2008年度総会に先立ち理事会が開かれ、瀬上支部長の挨拶後、長澤常任理事の司会で次の各議題の報告及び審議が行われました（以下概略。詳しくは支部ホームページ参照）。

#### 1. 異動等による第27期役員の新補充及び第28期役員候補の紹介

小澤、廣田、好本、松村、山本（伸）各氏の異動等による役員失格・辞退に伴い、瀬上（大阪管区気象台）、松本（大阪管区気象台）、大山（神戸海洋気象台）、辻村（広島地方気象台）、中山（大阪管区気象台）、楠田（大阪管区気象台）各氏の役員就任が報告されました。

また、第28期役員立候補者が定数内のため、全員無投票当選となり、新役員となった向川、大澤、藤井、西村、牧田、西各氏の紹介がありました。

2. 2008 年度支部奨励金受領候補者について

研究グループ助成は 2007 年度から支部奨励金に一本化されましたが、奨励金受領候補者について該当者がなかった旨報告があり、2004 年度以降は支部奨励金の授与者がなく、今後、常任理事会において授与対象者の拡大等の検討を行っていくこととしました。

3. 公益法人移行について

2008 年度日本気象学会総会（2008 年 5 月 19 日横浜市で開催）において説明が行われましたが、今後の活動にとって非常に重要な事項であり、理事会において公益法人移行の背景と仕組み、気象学会の対応と今後の予定及び支部会計の本部への統合の基本方針と具体的方法の試案について説明し、支部総会でも同様の説明を行うこととしました。

4. 総会資料の検討

2007 年度の事業報告（案）、収支決算報告（案）、及び会計監査報告（案）の説明が各担当理事から行われ、続いて、2008 年度事業計画案と予算案についての説明が各担当理事からありました。

例会については中国地区及び四国地区例会の開催日・場所が決まり、第 30 回夏季大学は「大気を診る」のテーマで、京都市で開催する計画であること、関西気象予報士会と共催で第 2 回「気象サイエンスカフェ」の開催を目指すことの説明がありました。

また、支部発行の過去文献の電子化に向けて、今後、常任理事会で検討を進めていくこと。その他は例年通りの事業計画とする旨の説明がありました。

5. 第 28 期役員選挙結果報告と支部長の選出

2008 年 4 月 3 日から 4 月 18 日までの期間に役員立候補の届出がありましたが、各役員の定数内であったため、選挙細則第 4 条により全員無投票当選となった旨報告がありました。

また、支部規約により、支部長は理事の互選によって常任理事のうちから定めることになっており、理事会で第 27 期に引き続き、瀬上常任理事を選任し、第 28 期役員体制が決まりました。

○ 2008 年度 関西支部総会並びに年会報告

<2008 年度気象学会関西支部総会> 2008.06.28 13:05～13:55

総会は、長澤常任理事の司会で始まり、最初に総会成立審査を行い、担当役員から通常会員の出席者（27 名）と委任状（107 名）をあわせて 134 名で、関西支部通常会員数 196 名の過半数を超えており総会が成立する旨報告がありました。前年（2007 年）度から通常会員のみならず委任状の提出を求めての総会に変更されましたが、会員種別の違い及び特別会員から通常会員へ、あるいはその逆への変更はいつでもできることを引き続き周知していく旨の説明がありました。

続いて、第 27 期役員の補充と紹介及び第 28 期役員候補の紹介後、瀬上支部長から『関西支部は初めてだが、各地区での例会・講演会の他、今年で 30 回となる夏季大学や昨年からはじめた気象サイエンスカフェの開催など大変活発に活動していると感じて

おり、この伝統を継続していきたい。また、今年度は本部会計への統合や支部発行の過去文献の電子化という重要な取り組みもあるのでがんばって行きたい。』との開会の挨拶がありました。

この後、公益法人移行についての背景と仕組み、気象学会の対応と今後の予定及び支部会計の本部への統合の基本方針と具体的方法の試案の説明が行われました。会員から『2010年度の秋季大会は関西で開催される予定となるが、この開催経費はどうなるのか』との質問があり、担当理事から『支部会計は本部に統合されることになるが、現在も秋季大会経費は本部の事業経費で予算化され運営しており、大きく変わることはない』との回答がありました。

その後、京都大学の井口会員を議長に選出して議事が進められました。議題は、2007年度の事業報告・収支決算報告・会計監査報告が行われ、賛成多数で全て原案どおり承認されました。続いて2008年度事業計画案・予算が審議され、これも原案どおりすべて賛成多数で承認されました。

議長解任の後、第28期役員選挙結果について、各役員の定数内であったため、選挙細則第4条により全員無投票当選となった旨報告がありました。

最後に、午前中の理事会で決まった第28期役員の支部長、常任理事、各地区理事、会計監査、幹事が報告され選任されました。

#### <2008年度気象学会関西支部年会> 2008.06.28 14:10~16:55

年会には総会出席者の他、研究発表に関係した大学生や気象予報士の約40名が出席し、広い会場がかなり埋まりました。発表件数は9題で昨年の1題増であり、発表時間は昨年同様に質疑を含め15分としました。次年度はもう少し発表題数を増やすことが望まれます。

座長は、前半4題を中山氏（大阪管区气象台）、後半5題を妻鹿氏（京都大学）が担当し、それぞれの発表と質疑が行われました。今年は、関西気象予報士会から小学校出前授業の活動についての発表の他、日本気象協会関西支社、神戸大学・京都大学等の研究グループ、气象台から幅広い分野の発表があり、それぞれの発表に対して活発な質疑が行われ、予定の終了時間をオーバーしました。

年会終了後の懇親会にも25名の参加があり、研究発表での続きと関西支部の活動など気象談義が近年になく盛り上がりました。

#### ○ 第28期第1回 常任理事会報告

日時：2008年7月25日（金） 15時~16時45分

場所：大阪管区气象台 16階

議事（詳細については関西支部ホームページ「常任理事会議事録」をご覧ください）

1. 2008年度事業計画について
2. 第28期役員の役割分担について

以下の分担が席上承認されました。なお、7月付けで、石田寛人近畿地区理事は異動に伴い地区理事を辞任。後任に山路昭彦氏が就任されました。

【常任理事】

- ・支部長 瀬上 哲秀(大阪管区气象台)
  - ・研究発表担当 塩谷 雅人(京都大学)、向川均(京都大学)、  
大澤 輝夫(神戸大学)、中山 繁樹(大阪管区气象台)
  - ・会計担当 松本 逸平(大阪管区气象台)
  - ・研究奨励担当 向川均(京都大学)、中山 繁樹(大阪管区气象台)
  - ・夏季大学担当 塩谷 雅人(京都大学)、向川均(京都大学)、  
大澤 輝夫(神戸大学)、藤井 健(関西気象予報士会)  
松本 逸平(大阪管区气象台)
  - ・庶務担当 中山 繁樹(大阪管区气象台)
- 【地区理事】
- ・近畿地区 山路 昭彦(日本気象協会関西支社)、大山 準一(神戸海洋气象台)
  - ・中国地区 山本 晋(岡山大学)、辻村 豊(広島地方气象台)
  - ・四国地区 佐々 浩司(高知大学)、木村 吉宏(高松地方气象台)
- 【会計監査】 西村 勝利(日本気象協会関西支社)
- 【幹事】
- ・研究発表担当 西 憲敬(京都大学)
  - ・庶務担当 楠田 和博(大阪管区气象台)、牧田 広道(大阪管区气象台)
  - ・会計担当 永山 隆治(大阪管区气象台)

3. 第 30 回夏季大学の進捗状況について
4. 支部ニュースの発行予定について
5. 第 2 回気象サイエンスカフェについて
6. 過去文献の電子化について
7. その他

○ 関西支部 第 30 回 夏季大学報告

**第 30 回 夏季大学スケジュール**

- 8月5日 司会：向川 支部常任理事
- ・開講挨拶 向川 支部常任理事
  - ・第 1 講座 「京都のヒートアイランド現象の観測とそのメカニズム、～ホームセンター気象学～」  
京都大学 人間・環境学研究科 酒井 敏 准教授
  - ・第 2 講座 「ウインドプロファイラーで診る大気の動き」  
京都大学 生存圏研究所 橋口 浩之 准教授
- 8月6日 司会：西 支部幹事
- ・第 3 講座 「宇宙から大気を見る、～衛星データの利用、今日と明日～」  
気象庁予報部予報課 西村 修司 主任技術専門官
  - ・第 4 講座 「観測データの解析や予報への利用」  
大阪管区气象台技術部 松本 逸平 予報課長

30 回目を迎える今年度の夏季大学を、平成 20 年 8 月 5 日と 6 日の二日間、何れも 13 時前から 17 時前にかけて、京都駅前のキャンパスプラザ京都 4 階、第 3 講義室で開催しました。

今回のテーマは「大気を診る」と題し、4 人の講師により前頁のスケジュールに沿って講義が行われました。

参加者は昨年より多い総勢 58 名で、一日目 53 名、二日目 50 名の参加がありました。講義室が 170 席と昨年より大きいと、部屋が広すぎたかと少々心配されましたが、写真でご覧のように、一部にやや空席が目立ったものの、つめかけた参加者で、雰囲気的には大学のゼミのようで、ちょうど良い広さを感じられました。

既に夏季大学の常連となった方から、高校生まで幅広い受講者が参加し、質問の時間には時間が不足するほど様々な質疑応答が交わされ、盛り上がりを見せました。

第 1 講座の酒井准教授の講義では、自ら「ホームセンター気象学」と名づけておられるように、手作りの温度センサー作成の方法や、金属板を使った熱放射の実験、終わりには 2 次元フラクタルを利用した日除けの実験など、分かりやすい語り口に加え、実験成果を中心に、工夫を凝らされた講座運びで参加者を飽きさせることがありませんでした。

第 2 講座では、橋口准教授が MU レーダーを始めとする様々な大気レーダー（ウインドプロファイラー）の歴史から、動作原理、その利用や利用上の注意点、更にインドネシアで展開中の赤道大気レーダーを含む様々な観測体制の整備などにも触れて一部その成果も紹介され、地上観測以外の大気の立体構造を探る方法を詳細に講義されました。

2 日目の第 3 講座では西村主任技術専門官が、気象衛星に関する自らの豊富な経験を交え、ビジュアルなプレゼンテーションを駆使して、画像の見方や利用方法、更にはマイクロ波放射計を使った最新の衛星観測のことなどを講義。今や気象衛星のデータは気象業務に無くてはならないとまで言える状況を分かりやすく説明されました。



夏季大学の講義風景（第 4 講座から）

第4講座の松本予報課長は軽妙な語り口で、各種の観測データが数値予報にどのように取り込まれ利用されているかを中心に、数値予報の基礎原理やその限界、予報精度向上のためにはモデルの性能向上もさることながら、そこに利用される観測データの品質管理がいかに重要ななど、本格的に説明すればかなり高度な内容まで噛み砕いて講義されました。

今年も、時間を超過して活発な質問が出るなど、暑い時期の内容の濃い夏季大学でしたが、無事終了できました。

紙面上ではありますが、講師の方々を始め、関係された方々のご尽力に感謝すると共に、来年も引き続き皆さんの期待に応えられる夏季大学を実施できるよう願って止みません。以上簡単ですが報告とします。

#### ○ 2008年度関西支部例会のお知らせ

##### ■中国地区例会

1. 日時：2008年11月8日(土) 10:00～17:30
  2. 場所：広島市東区民文化センター（3階大会議室）
  3. テーマ 設定なし
  4. 特別講演「気象庁現業モデルの現在と今後」石田 純一氏（気象庁数値予報課）
- ※発表申込締め切り、要旨集原稿締め切り：2008年10月1日（水）

##### ■四国地区例会

1. 日時：2008年12月13日(土)
  2. 場所：徳島大学工業会館（常三島キャンパス内、2階メモリアルホール）
  3. テーマ 設定なし
  4. 特別講演：瀬古 弘氏（気象研究所）
- ※発表申込締め切り、要旨集原稿締め切り：2008年11月6日（木）

##### ■近畿地区例会

1. 日時：2009年2月（海洋気象学会と共催）
2. 場所：神戸市（予定）
3. テーマ 未定

なお、発表募集等の詳細は今後の支部ニュースおよび天気「支部だより」でお知らせします。

#### ○ 第2回気象サイエンスカフェについて

当支部では、昨年12月上旬に気象サイエンスカフェ神戸との共催の形で協力を得て第1回を神戸市で開催しました。第2回目は大阪市内で関西気象予報士会との共催を目指しています。

時期は9月以降、時間帯は土曜日の午後に2時間程度。テーマは確定していませんが、開催日の2週間前にはHP上で一般に知らせる予定です。

○会員種別について

会員の種別につきましては、2006 年度理事会・総会において「支部会員の種別化について、2004 年 8 月から既に本部で実施している形をそのまま準用し、今後通常会員のみ選挙権や議決権をもつこととする。」ことが承認されました。このため、通常会員は総会の議決権及び役員選挙における選挙権と被選挙権がありますが、その他の会員にはそれらの権利はありません。ただし、特別会員から通常会員に、あるいはその逆への変更はいつでもできますので希望される方は日本気象学会事務局まで連絡して下さい。

○ メールアドレス登録のお願い

関西支部ニュースは年 3 回（5 月、8 月、3 月）発行予定で、2006 年度から関西支部ホームページに掲載して閲覧していただいています。支部ニュース発行、総会・年会・例会などの開催通知は、支部全会員に E-mail で配信していますが、E-mail アドレスの登録は約 7 割となっています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail アドレスを関西支部事務局まで、ご登録いただくよう重ねてお願いいたします（関西支部の連絡先などは最初のページをご覧ください）。

○ 住所変更届のお願い

機関誌「天気」などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っています。学会事務局では会員の皆様の移動状況を早めに把握するように努めておりますが、把握漏れがあった場合には旧勤務地（旧住所）に発送され、旧勤務地（旧住所）の方に転送等の御迷惑をおかけすることになります。会員の皆様におかれましては、転勤等により勤務地（住所）が変わった場合、変更届を速やかに下記の学会本部事務局宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内

TEL : 03-3212-8341 (内線 2546) FAX : 03-3216-4401

E-mail [met soc-j@aurora.ocn.ne.jp](mailto:met soc-j@aurora.ocn.ne.jp)

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際には半角で入力して下さい)

**住 所 等 の 変 更 届**

- |              |      |
|--------------|------|
| ・会員番号： No.   | ・氏名： |
| ・旧勤務地（旧住所）：〒 |      |
| ・新勤務地（新住所）：〒 |      |

○ (社) 日本気象学会入会案内

入会を希望される方はどなたでも入会できます。学会のホームページからオンライン

(Web 入力) による手続きができます。郵送またはFAXで申し込まれる方は個人用又は団体用の申し込み用紙をホームページから入手するか、下のものを利用し、必要な事項を記入したうえ、学会事務局本部に郵送またはFAXで送付して下さい。  
会費の納入など詳しいことは学会事務局にお尋ね下さい。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内  
TEL : 03-3212-8341 (内線 2546) FAX : 03-3216-4401

ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/Form/nyukai-j.html>

入会申込書 (個人用)				(社団法人)日本気象学会			
(太線の枠内だけを記入して下さい)				FAX : 03-3216-4401			
個人会員番号		所属支部		受付日	20	年	月 日
				承認日	20	年	月 日
フリガナ				生年月日	19	年	月 日
姓 名				職業			
性 別	1. 男 2. 女						
郵便物の送付先							
〒 -				(電話)			
現住所 (郵便物の送付先と同じ場合は記入しなくてよい)							
〒 -				(電話)			
勤務先または大学名 (部署、学部等詳細に) (郵便物の送付先と同じ場合は記入しなくてよい)							
〒 -				(電話)			
入会時の「天気」への「住所」の掲載							
1. 郵便物の送付先 2. 現住所 3. 勤務先・大学名 4. 掲載を希望しない							
電子メールアドレス							
① (学会メーリングリストへの登録は学会HP ( <a href="http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/">http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/</a> ) から申し込み下さい)							
会 員 種 別 (希望の記号を○で囲む。賛助会員は会費(4万円以上)を記入)							
1. 通常A (一般) 11. 特別A (一般) 共に (会費 6,900円、「天気」を無償配布)							
2. 通常B (一般) 12. 特別B (一般) 共に (会費12,600円、「天気」と「気象集誌」を無償配布)							
3. 通常A (学生) 13. 特別A (学生) 共に (会費 4,200円、「天気」を無償配布)							
4. 通常B (学生) 14. 特別B (学生) 共に (会費 8,100円、「天気」と「気象集誌」を無償配布)							
5. 通常A (高年) 15. 特別A (高年) 共に (会費 4,200円、「天気」を無償配布)							
6. 通常B (高年) 16. 特別B (高年) 共に (会費 8,100円、「天気」と「気象集誌」を無償配布)							
17. 特別C (会費 6,600円、「気象集誌」を無償配布)							
注① 通常会員には総会での議決権、役員に関する選挙権などが有り、特別会員には有りません。							
注② (高年) 会員は本人がこの種別を希望し、前年12月末に65歳以上に達している個人です。							
31. 賛助会員 (会費 万円、「天気」と「気象集誌」から希望のものを無償配布)							
希望支部 (外国在住者のみ記入。希望なしは関東支部。(国内在住者は自動的に決定されます))							
1. 北海道 2. 東北 3. 関東 4. 中部 5. 関西 6. 九州 7. 沖縄							
機関誌の配布開始希望月 (年途中からの会費は月割りとなります)							
天 気	巻	号から	気象集誌	巻	号から		
定期購読希望 (機関紙以外の刊行物)							
気象研究ノート	1. 希望する ( 号から)			2. 希望しない			
大会予稿集	1. 希望する ( 年春から/秋から) ( 号から)			2. 希望しない			
来年からの会費納入方法							
1. 郵便口座からの引落とし 2. 銀行口座からの引落とし 3. 郵便局からの振込み							
注① 1. 2. の場合は折り返し必要書類をお送りします。記入のない場合は、3. とします。							
注② 手数料が安く、全国的に利用できる1. がお勧めです。							
通信欄 (その他)							
月 割 り 会 費	号数	単価	小計	(月割り会費の単価)			
天気		円	円	天気 : 一般 580円、学生・高年 350円。			
気象集誌		円	円	気象集誌 : 一般 950円、学生・高年 650円、			
合計			円	特別C 1,100円。			